

はじめに

このたびは、TOTOウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございました。

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

- 1. 設置工事が必要な場合は必ず電気工事に依頼してください。
- 2. 製品はお客様用として、取扱説明書(保証書付)・使い方説明シートを同梱しております。工事完了後、お客様に手渡ししてください。
- 3. 施工説明書中の保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付日を必ず記入してください。

安全上の注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 1. 浴室など湿度の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあります。)
- 2. アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。(感電するおそれがあります。)
- 3. 中水道や工業用水の水道に接続しないでください。(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
- 4. 漏電保護プラグを交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。(感電や火災のおそれがあります。)

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 1. 連結ホースを折曲げたり、つぶしたりしないでください。(漏水するおそれがあります。)

部品の確認

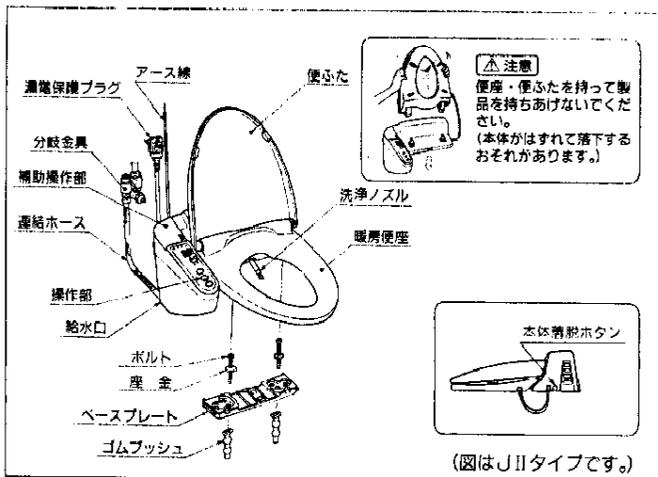
まず、次の部品があることを確認してください。

①ウォシュレット本体			
(図はJIIタイプです)			
②ベースプレート部品			
ベースプレート (ストッパー付)	ボルト (2ヶ)	座金 (2ヶ)	ゴムフッシュ (2ヶ)
③分岐金具	④連結ホース	⑤取扱説明書(保証書付) 使い方説明シート 同封	

取付前の注意

- 1. 電源は、交流100V(50/60Hz)、最大消費電力は570Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- 2. 電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に付けてください。
- 3. 給水圧力範囲は0.05MPa(0.5kgf/cm²)~0.74MPa(7.5kgf/cm²)です。この圧力範囲でご利用ください。
- 4. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご利用ください。
- 5. 連結ホースの長さは0.97mです。給水取出し位置は、本体の給水口から0.7m以内に付けてください。
- 6. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

各部の名称



仕様

項目	内容	
定格電源	交流 100V 50/60Hz	
最大消費電力	570W	
1時間当たりの標準消費電力量*	37Wh	
電源コード(同アース線長さ)	1.0m	
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄 約0.4~1.1L/min (水圧0.2MPa(2.0kgf/cm ²)の時) 調節可 ビデ洗浄 約0.5~1.0L/min (水圧0.2MPa(2.0kgf/cm ²)の時) 調節可
	吐水温度	温度適応範囲 約30~40℃
	ヒータ容量	500W
	タンク容量	1030mL
	安全装置	温度ヒューズ、温度過昇防止器 空焚き防止フロートスイッチ
	逆流防止	バキュームブレーカ、逆止弁
暖房便座	表面温度	温度調節範囲 約30~40℃
	ヒータ容量	50W
脱臭機能 (JIIのみ)	方式	〇脱臭
	風量	0.09m ³ /min
給水圧力	最低必要水圧: 0.05MPa(0.5kgf/cm ²) (流動時) 最高水圧: 0.74MPa(7.5kgf/cm ²)	
給水温度	0~35℃	
周囲仕様温度範囲	0~40℃	
製品寸法	洗落し便器用	幅516mm、奥行497mm、高さ280mm
	その他の便器用	幅518mm、奥行527mm、高さ280mm
製品質量	5.6kg(JII)、5.4kg(JI)	

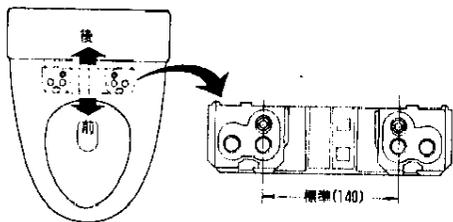
* 1日12回使用で年間平均にて計算しています。

取付方法

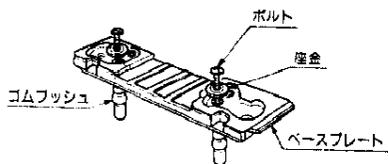
1. 便器への取付け

① ベースプレートの取付穴の確認をする。

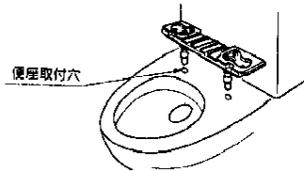
前後と表示している方が表側です。
前と表示している方を、便器の先端側に向けます。



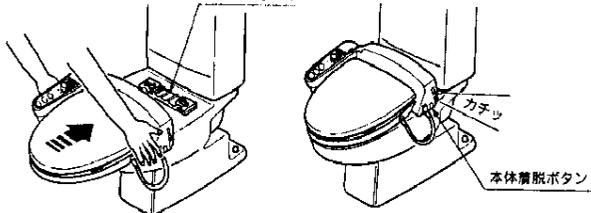
② ベースプレートに座金・ボルトを差込み、ゴムフッシュをはめこむ。



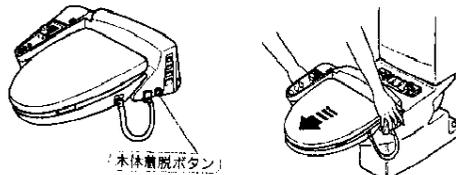
③ ②を便器の便座取付穴に差込み、上面からドライバーでボルトをゆるく留める。



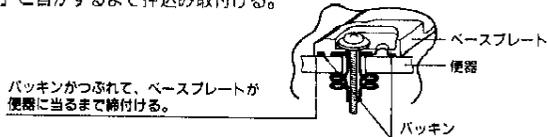
④ ベースプレートのスライド溝とケース本体の溝の位置を合せ、「カチッ」と音がするまで本体を押込む。ベースプレート



⑤ 便座本体がまっすぐに取付くことを確認し、いったん本体を取りはずす。本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くとはずせます。



⑥ ボルトをベースプレートが便器に当たるまで本締めした後、再度本体を「カチッ」と音がするまで押込み取付ける。



※ 本体機能部を便器にセットした際、上下左右に若干のガタツキが発生します。これは（本体ファンタッチ着脱方式）を行うために設けたスライド部のすき間によるもので異常ではありません。

2. 分岐金具の取付け

一般のタンクと便器の場合

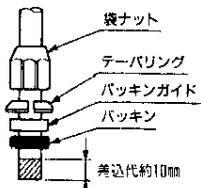
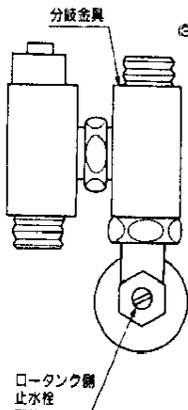
取付ロータンク

分岐金具をロータンク側止水栓に取付ける。

- ① ロータンク側止水栓を閉じ給水管を取外す。
- ② 分岐金具を図のようにロータンク側止水栓に取付ける。
※必ずパッキンを入れてください。
- ③ 給水管を約10mmの差込代がとれる寸法に切り接続する。

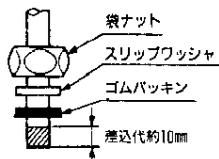


接続部にテーパリングを使用している場合



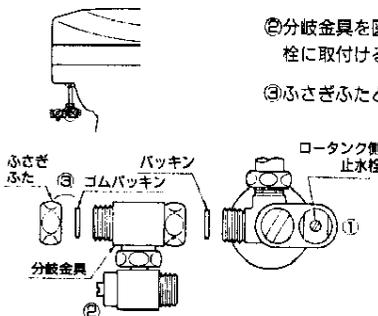
※ 順番と向きを間違えないでください。

接続部にテーパリングを使用していない場合



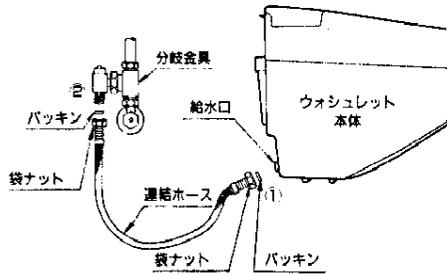
ワンピース便器の場合

- ① ロータンク側止水栓を閉じ、ふさぎふたとゴムパッキンを取外す。
- ② 分岐金具を図のようにロータンク側止水栓に取付ける。
- ③ ふさぎふたとゴムパッキンを取付ける。



3. 連結ホースの接続

分岐金具とウォシュレット本体を連結ホースで接続してください。



- ①ウォシュレット本体の給水口と連結ホースを接続する。
* 連結ホースの向きにご確認ください。
* 確実に締付けてください。
- ②分岐金具の給水取出口と連結ホースを接続する。
* 確実に締付けてください。
- ③本体の取付け・取外しがスムーズに行えるだけのホースの余裕を確認する。

⚠ 注意

連結ホースは必ず付属のものを使用してください。
現在すでに取付いているホースをそのまま使ったり市販のホースを使用するとよじれたり破損することがあります。

フラッシュバルブから取水する場合

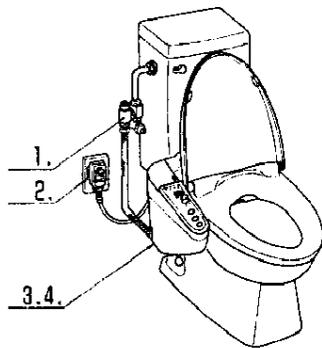
フラッシュバルブから取水する場合は、別売品のTH484（フラッシュバルブの給・排水心々120mm用）又はTH484-1（低圧フラッシュバルブ用）が必要となります。

隅付タンク右給水から取水する場合

隅付タンクの給水が向って右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA14が必要となります。

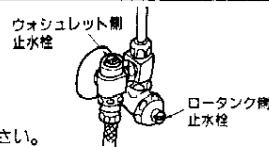
試 運 転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。



1. 水漏れの点検

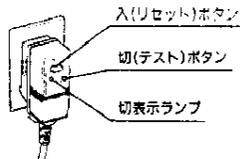
ウォシュレット止水栓とロータンク止水栓を開いて配管から水漏れがないことを確認してください。
* ウォシュレット止水栓を全開にしてください。



2. 漏電保護プラグの確認

※落下させてしまった場合などに切表示ランプが点灯する場合があります。入(リセット)ボタンを押してください。

- ⚠ 警告**
- ①漏電保護プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。
 - ②ノズルが一旦出て戻る初期動作を行っているか確認してください。
 - ③漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。



切(テスト)ボタンを押すと切表示ランプが点灯し、入(リセット)ボタンを押すと消灯する動作が正常です。切表示ランプが点灯している状態では過電されませんのでテスト後は必ず入(リセット)ボタンを押してください。

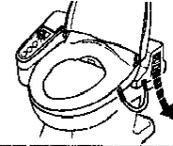
3. 機能の確認

①着座センサーを白紙などでおおう



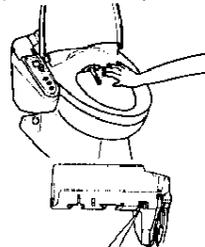
- 着座センサーを白紙などでおおいます。(白紙などでおおうと着座センサーが感知した状態になります。)

②脱臭機能を確認する(♫のみ)

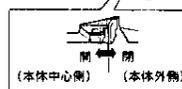


- 本体ケースの右側から風が出ていますか?

③洗浄機能を確認する



- ④⑤を押すとノズルから適温の温水が吐水しますか? 吐水は手のひらで受けてください。(タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約5分かかります。)
- ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。
- ⑥を回すと水勢が変化しますか?
- 本体から水漏れはありませんか?
- ⑦を押すと止まりますか?



④暖房便座を確認する

- 便座が温まっていますか。(15~20分かかります。)

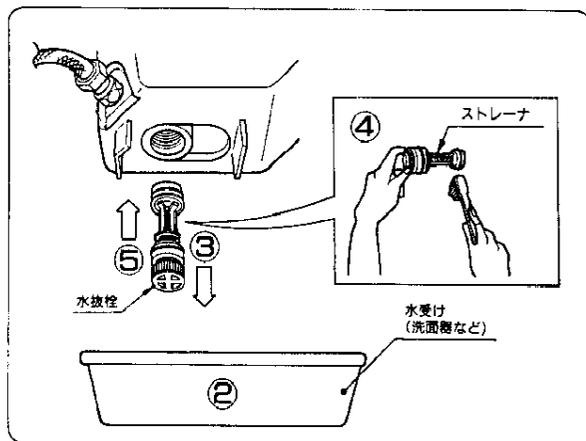
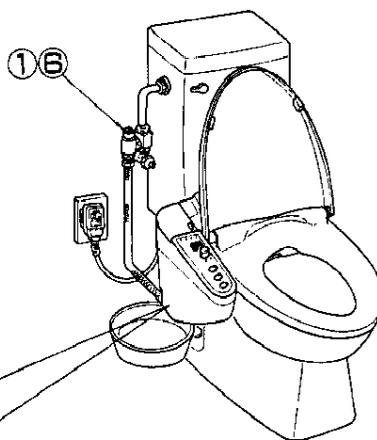
⑤着座センサーの白紙をはがす

- 着座センサーをおおっている白紙などははずします。

ストレーナの掃除

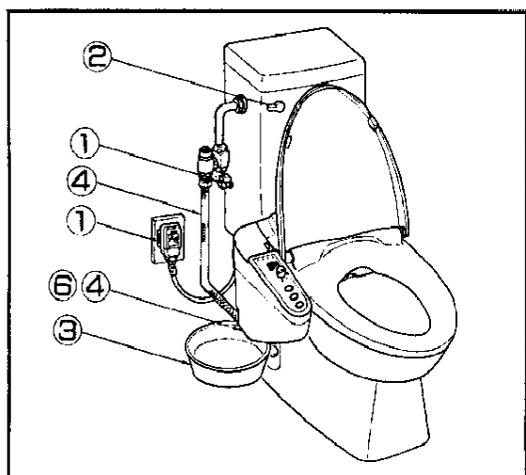
ストレーナに水あかやごみが詰まるとおしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。
必ずストレーナを掃除してください。

- ①ウォシュレット止水栓を閉める。
- ②水抜栓の下に水受けを置く。
- ③水抜栓をゆるめた後引き抜く。
- ④ストレーナをブラシなどで掃除する。
- ⑤水抜栓を押しこんだ後、本体側に確実に当たるまで締付ける。
- ⑥ウォシュレット止水栓を開けて、漏水がないことを確認する。



凍結のおそれがある時の処置

お客様に引渡されるまでに凍結のおそれがある時は凍水事故予防のため水抜きしてください。



水抜き方法

- ①漏電保護プラグを抜き、ロータンク止水栓を閉める。
●ウォシュレット止水栓が開いていることを確認してください。
- ②レバーハンドルを操作し、ロータンクの水を抜く。
- ③水抜栓の下に水受けを置く。
- ④連結ホースの水を抜く。
●水抜栓をゆるめた後引き抜いて水を抜いてください。
●連結ホースを持ち上げて連結ホース管内の水を完全に抜いてください。
- ⑤ウォシュレット本体の水を抜く。
●水抜きレバーを「開」位置に移動させ、ウォシュレット本体内の水を抜いてください。
(水抜きレバーの操作はウォシュレットを便器に取付けた状態で行ってください。)
●ウォシュレット本体内の水はノズル左側から便器内に出ます。
(約1ℓの水が出ます。水抜きは約2分で終わります。)
- ⑥水を抜き終わったら……
●水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。
●水抜栓をウォシュレット本体側に確実に当たるまで締付けてください。

*水抜きレバーは本体背面にあります。

工事店様へ

取付後は製品の使い方についてお客様に説明してください。
お客様に引渡されるまでは漏電保護プラグを抜いておいてください。